



1年の締めくくりの3学期 さらに前進の3学期に！

新年あけましておめでとうございます。

保護者の皆様におかれましては、良いお年をお迎えになったことと存じます。

新たな年が始まりましたが、今年こそはコロナウイルスの感染が終息して、以前のような生活に戻ることを心から願うばかりです。



藤戸台小学校では、本日1月6日に3学期の始業式を執り行いました。昨日は、「今年の3学期始業式の日、寒さは厳しくならないだろうか。」「雪は降らないだろうか。」と子供達の登校を心配し、今日、登校時の見守りをしましたが、子供達の元気なあいさつとしっかりとした足取りに、心が温くなりました。冬休み中、ひっそりとしていた校舎にも、子供達の元気な声に戻ってきました。子供達の笑顔を見ていると、子供達のために精一杯頑張らねばと思います。

始業式でのお話

始業式では、干支にちなんだ次のような内容のお話をしました。

○紀元前1600年ごろ、中国で始まったといわれている干支。今年の干支である「とら」は、動物の「とら」のことです。黄色地に黒色の毛皮の模様から、「とら」に産まれる前は夜空に輝く星だったのではと考えられていたそうです。

○「とら」は、「決断力」や「才知」、「才覚」（才能や知恵）の象徴で、「始まり」の意味もあり、「とら」は縁起の良い置物としても重宝されています。



始業式でのお話（つづき）

○今年のとら年には、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」という意味があるそうで、私達も「とら」のように、3学期も、また今年1年も、チャレンジ精神を強く持って、積極的に前向きに何事にも強い信念と自信をもって挑んでいきたいものです。真面目に忍耐強く、一生懸命に努力していきたいと思います。

○この努力が、やがて実を結ぶこと、自分自身の成長につながっていくことを子供達に話しました。

干支にちなんだお話の後には、3学期がそれぞれの学年の「仕上げ」と次の学年の「準備」をする学期であること、そして、この3学期をどのように過ごしたらよいか、また、3学期にも引き続き新型コロナウイルスに負けず、感染症対策をしっかり行っていくことについてお話をしました。



3学期は、それぞれの学年のまとめをするとともに、次の学年に向けた準備を行うとても大切な学期です。

6年生の子供達にとっては、卒業式を控えた小学校最後の学期となります。3学期の学習内容は、小学校6年間のまとめになりますが、6年生がこの「まとめ」にしっかりと取り組み、中学校の準備ができるように、私たちはサポートしたいと思います。

また、他の学年の子供達にとっても同様に、次の学年へのステップとなるよう、そして、今学年の学習が確実なものになるように支援していきたいと思います。

保護者の皆様には、引き続きまして、本校の教育にご理解、ご支援くださいますようよろしくお願い申し上げます。